

大学生の生活実態に関する調査結果

ひめぎん情報センター

【調査対象】 短大・大学・大学院・専門学校に通う子どものいる愛媛県内の家庭 800 世帯

【調査時期】 2016 年 11 月下旬 【有効回答率】 32.3 % (259 世帯)

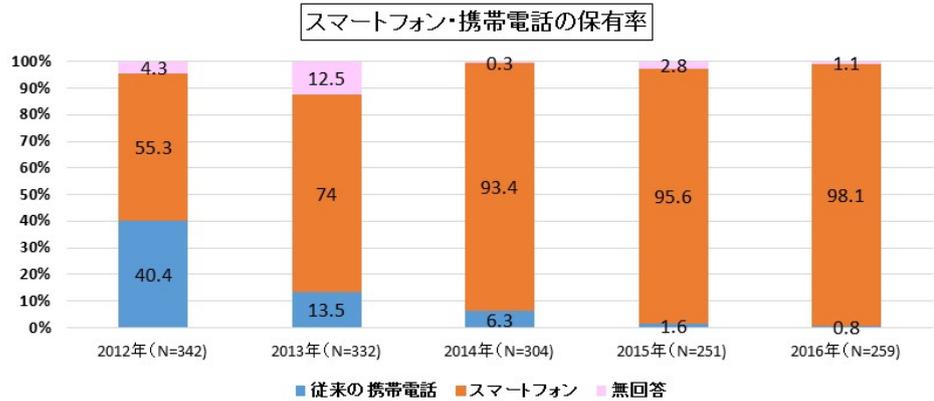
………子どもの性別・進学状況………

★学生の性別 男子 46.3% 女子 51.7% 無回答 2.0%

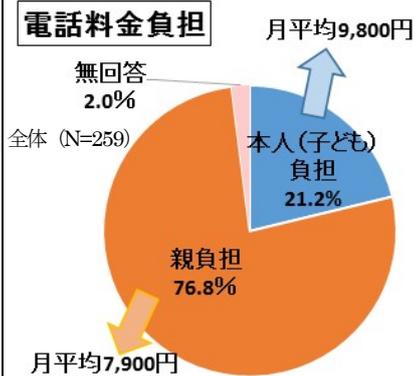
★学校の所在地 首都圏 12.7% 近畿 12.7% 中国 12.7% 愛媛 50.6% 九州 2.3% その他 5.4% 無回答 3.6%

★学生の住居形態 自宅 41.3% 学生寮 7.7% 一人暮らし 45.9% その他 1.5% 無回答 3.6%

1. ① スマートフォン・携帯電話の保有率

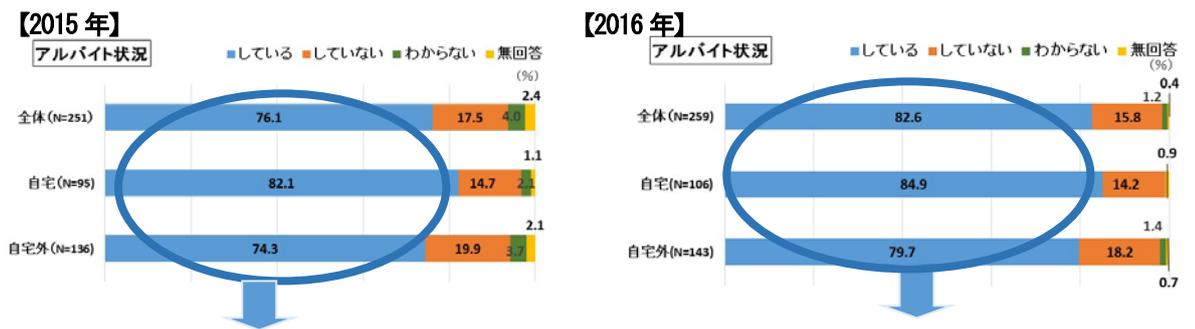


②電話料金の負担者

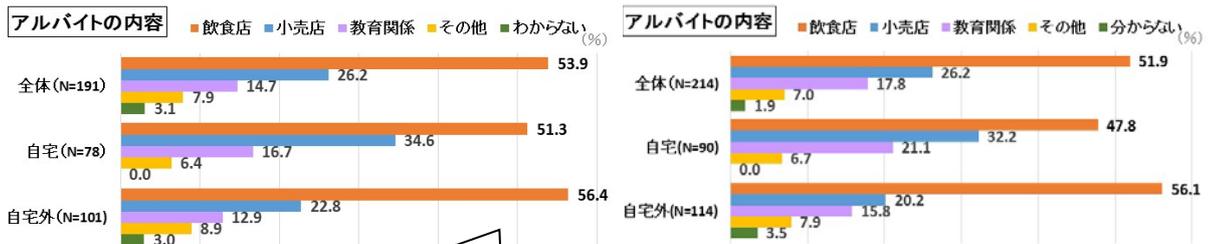


- ・スマートフォンの保有率は調査開始の2012年から年々増加し、2016年には98.1% (2012年比+42.8ポイント) と、ほとんどの学生がスマートフォンを保有。
- ・電話料金の負担は「親負担」が多く、7割以上。負担料金は「本人」の場合、月平均9,800円、「親」の場合、月平均7,900円。

2. ① お子様のアルバイト状況

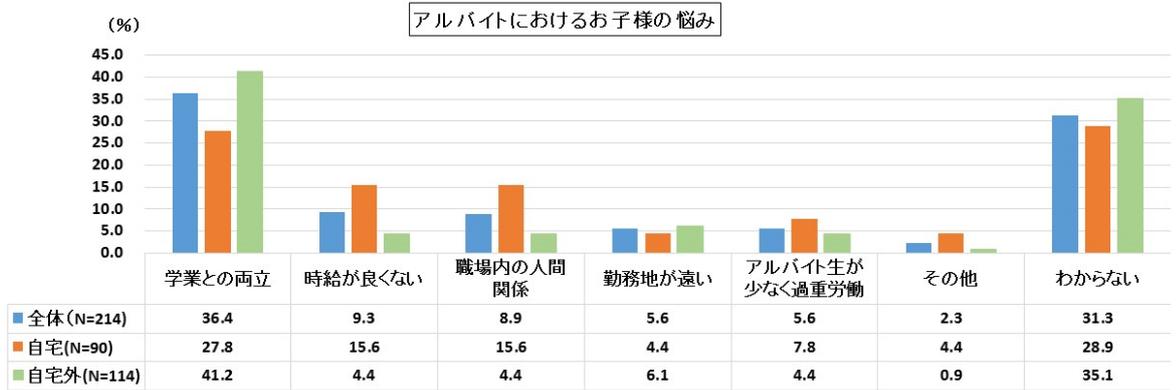


(アルバイトを「している」人のみ) ②アルバイトの内容 (複数回答)



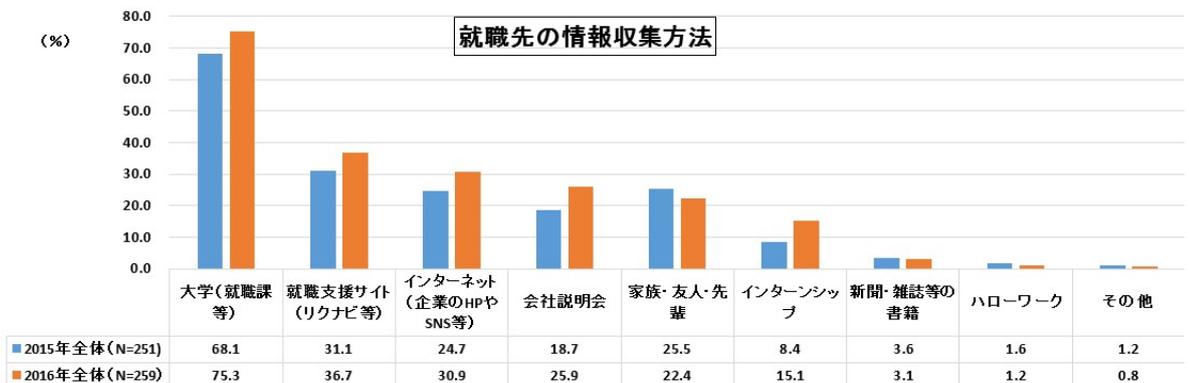
※「飲食店」はレストラン・カフェ・居酒屋など。
「小売店」はスーパー・コンビニなど。
「教育関係」は家庭教師・塾講師など

(アルバイトを「している」人のみ)
③アルバイトにおけるお子様の悩み
(複数回答)



- ・2016年調査では、アルバイトをしている学生は全体で8割以上。(2015年比+6.5ポイント)。
自宅外生(79.7%)より自宅生(84.9%)の方がアルバイトをしている割合が多い。
自宅外生は仕送りだけでやりくりしている人が多いと考えられる。※参考：仕送り額(2016年同調査 平均9万8,000円)
- ・アルバイトの内容としては全体では「飲食店(レストラン・カフェ・居酒屋など)」が多く5割以上を占めており、2015年調査同様、2016年も「飲食店」でアルバイトしている学生は自宅生(47.8%)より自宅外生(56.1%)の方が多い。
- ・アルバイトにおける悩み(※調査は2016年のみ)では全体では「学業との両立」が最も多く、3割。「時給が良くない」は自宅外生(4.4%)より自宅生(15.6%)の方が多い。都市部に比べ、愛媛県は最低賃金が低いこともあり、県内学生の不満がうかがえる。

4. 就職先に関する情報の集め方
(複数回答)



- ・就職先に関する情報を「大学(就職課等)」から集めている人が最も多く、2016年では7割以上を占めている。
- ・「大学(就職課等)」、「就職支援サイト(リクナビ等)」、「インターネット(企業のHPやSNS等)」、「会社説明会」、「インターンシップ」などは前回調査(2015年)より割合が増加。特に、「大学(就職課等)」と「会社説明会」はそれぞれ前回より7.2ポイント、「インターンシップ」は6.7ポイント増加。
自分の足で情報を集めに行き、積極的に行動に移している学生が増えていることがうかがえる。